



学校だより

墨田区立第三吾孺小学校
校長 川中子登志雄
平成31年2月20日
臨時号

「子供を三吾小に入学させてよかった」

88%



1 はじめに

昨年末に保護者の皆様にご協力いただきました、平成30年度の学校評価・保護者アンケートの結果の集計・分析が終わりました。そして、先日4日に行われた学校運営連絡協議会での外部評価を受け、今年度の成果と課題について学校でまとめたものをご報告いたします。詳しい集計結果につきましては、本校ホームページに掲載いたしましたので、そちらもご覧いただければ幸いです。

さて、今回から学校評価の方法を変更し、保護者の皆様には、お忙しい中、マークシート形式でのアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、全家庭数の85%を超えるご家庭から回答をいただき、大変貴重なデータを得ることができました。

き、大変貴重なデータを得ることができました。

今回のアンケートでは、学校の長期的・短期的経営目標の実現に向け、特に本年度力を入れて行ってきた重点取組について、「児童の教育について」、「地域に開かれた学校」という二つのカテゴリーに分類した形で設問を作成しました。そして、各項目について、「学校の取組姿勢はどうだったのか」という学校の取組についての評価と、「その取組の結果、我が子はどう変容したのか・成長したのか」という成果についての評価をしていただきました。

あわせて、保護者の皆様が学校に寄せる期待についての意識調査（「子供に身に付けさせたいこと」「三吾小のよいところ」「学校に期待すること」と、全体的に総括したご意見としての三吾小の教育に対する満足度（「自分の子供を第三吾孺小学校に入学させてよかった」）についてもお伺いしました。その結果、88%の保護者の皆様から肯定的な評価をいただくことができました。その内訳も、60%以上が「よく当てはまる」と、高い評価をいただきました。学校は、この評価を今後の学校に対する保護者の皆様の期待と受け止め、教職員一同、「すべてはみんなの笑顔のために」力を合わせて改善を進めていく所存です。

2 アンケート結果と分析 奇数問は学校の「取組」について、偶数問は「成果」（子供の変容）について

【児童の教育】

1) 「人権尊重、自主自立・自律の態度の育成」

Q1, 2 「三吾あいことば」による自主・自立、自律の生活態度の育成についての質問です。三吾小では、児童の自主性、そして二つの「じりつ」を育むために、10項目からなる「三吾あいことば」を使って指導しています。これは、肯定的な合い言葉として普段から口ずさみながら、児童が自主的に判断し、自分の行動に責任をもつことができるようにさせる取組です。学校便りでもシリーズ化してお伝えしてまいりました。例えば、廊下を走っている子に「走ってはいけません」と否定的な声かけをするのではなく、「右しずか、ですよ。」と肯定的な声かけで、自分から気付いて自分の行動を振り返らせることを目指しています。保護者アンケートからは、学校の取組については、71.6%の肯定的な評価をいただきましたが、自分の子供の様子では、まだ十分な定着が見られないという評価（肯定48.1%、「あまり当てはまらない」が30%）でした。また、「判断できない」という回答も多く、保護者の方に「三吾あいことば」の取組が周知されていないという課題も見えてきました。

2) 「21世紀を生きるための確かな学力の向上」

Q3, 4 「ICT機器を活用し、理科・社会・生活の学力向上を図る」については、学校のICT機器活用による授業改善と、それによって理科・社会・生活の学力がついてきているかについて評価していただきました。学校の取組については81.5%の肯定的評価でした。子供に「基礎・基本的な学力が身に付いている」とい

う回答は60.2%でした。学校は、今後も児童の基礎学力の向上を目指してさらに授業改善をすすめていきます。

Q5, 6「外国語活動(英語)の充実を図る」については、学校の取組がまだ十分とは言えない(67.3%)のに対して、子供は楽しんで取り組んでいると思われた保護者が72.7%という結果でした。また、学校の取組については「判断できない」という回答が14.5%もあり、来年度以降、土曜学校公開日などで積極的に授業の様子を公開していくように改善したいと考えています。

Q7, 8「家庭学習の習慣化を図る」については、学校では今年度も「家庭学習の手引き」を全家庭に配布し、宿題や自主学習(トッピング学習)のやり方についてお知らせしました。日常の家庭学習の状況は、学年や学級によっても差が見られますが、比較的よく取り組んでいると言えます。しかし、保護者アンケートからは取組・成果ともに、改善の余地が見られる結果が見られます。子供たちが大人になっていく時代には、平均寿命が100歳を超え、人生を豊かにするために、生涯学び続ける必要があります。学び方を学ぶ、その基礎は小学校からの学習にかかっています。

3)「健康、安全教育」

Q9, 10「運動能力・体力の向上を図る」については、学校の取組について89.5%、児童の成果について71%と高い肯定的評価をいただきました。三吾小の恵まれた環境を生かし、来年度以降は、体力テスト結果の分析に基づいた体力向上の取組も進めていきます。

Q11, 12「自ら対応できる危機回避能力を育成する」についても、学校の取組について90.5%、児童の成果について75.9%と高い評価をいただきました。災害の多い日本では、自分の身は自分で守ることのできるような、確かな判断力と行動力が必要です。これからも、避難訓練や安全指導を通して、児童の危機回避能力を高めていきたいと思えます。

【地域に開かれた学校】

「地域と協働した子育て、開かれた学校」

Q13, 14「地域の子育てと協働する」については、子ども会、いきいきスクール、学童クラブ等との学校の連携について質問しました。これに対して、学校の取組は83.0%と高くなりましたが、自分の子供が地域行事に積極的に参加しているかについては60.2%の肯定的な回答にとどまりました。三吾小に通っている子供たちは、必ずしも三吾小地区の5町会に属している訳ではなく、また習い事などで地域行事に参加できないこともあるようです。そう考えると、決して低い数値ではありませんが、地域との連携はこれからも深めていきたいと考えています。

Q15, 16「地域の教育財産を生かし、地域を知り、地域を愛し誇りに思う児童を育てる」については、学校の様々な取組(キャリア教育特別授業、三吾フェスタ、図書ボランティアの読み聞かせ、ふれあいサロンなど)について90.5%もの肯定的な評価をいただきました。児童の成果については「特別授業等を通して、地域への愛情を深めている」と答えた方が51.7%にとどまりました。この質問については、学校運営連絡協議会の委員の皆さんからも、「愛情を深める」というのがハードルが高すぎたのではとのご指摘をいただきました。子供たちが、これらの取組に大変楽しんで参加している様子が見られることから、質問の項目について再検討が必要であると考えています。

Q17, 18「積極的に教育活動の情報発信に努める」については、学校の取組について90%を超える評価をいただき、それによって75.3%の保護者の方が「学校の取組や様子が把握できている」と回答しています。今後も学校公開や学校便り、ホームページの充実を図って行きます。

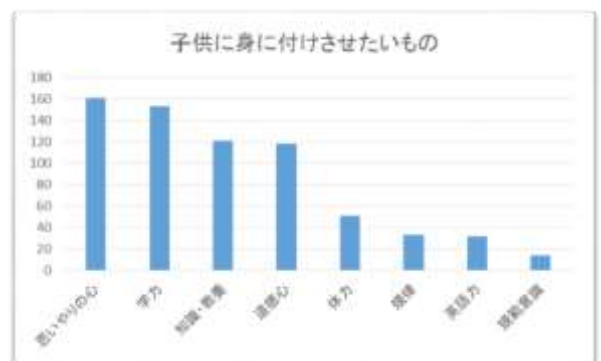
3 意識調査について

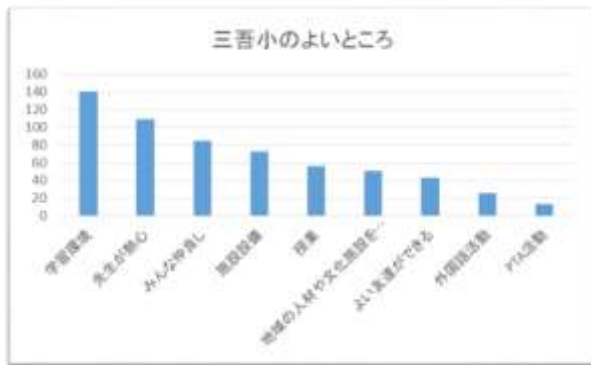
Q19, 20「子供に身に付けてほしいこと」、Q21, 22「三吾小のよいところ」、Q23, 24「学校に期待すること」という三つの意識調査をお願いしました。選択肢の中から、二つまで選んでいただいたものについて、回答数の多かったものから順に並べて比較してみました。

まず、最初の「子供に身に付けてほしいこと」では、「思いやりの心」「学力」「知識・教養」がトップの三つになりました。

その他の意見としては、「コミュニケーション能力」「忍耐力」「仲間と協力して成し遂げる力」「自分の意見を人前で発言する力」「何か問題があっても、大丈夫という心構え」「学ぼうとする探究心、好奇心」などの意見が寄せられました。

一番多かったのが「思いやりの心」で、学力よりも若干上回りました。「親ごころ」の表れとして、学校でも今後の経営の参考にさせていただきます。



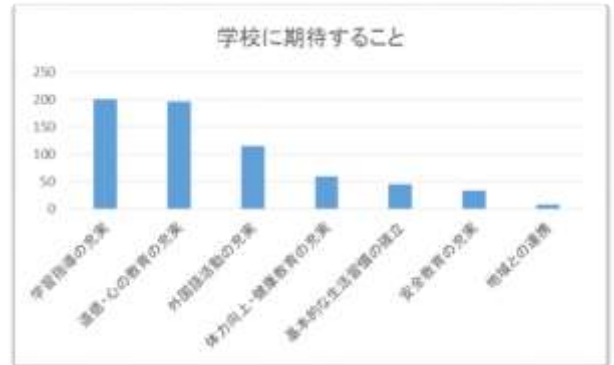


続いて、「三吾小のよいところ」については「学習環境」「先生が熱心」「みんな仲よし」がトップの三つでした。中でも広く、明るい校庭や、体育館などの施設・設備、ICT機器の整った教室などの恵まれた環境は、子供が学習する場としてよいと評価された方が多かったようです。

また、「先生が熱心」「みんな仲よし」が高い評価をいただけていて、学校にとっても大変励みになる結果でした。

その他の意見では、「主事さんたちが熱心に作業してくださり、毎朝子供たちを温かく出迎えてくださるところがとてもありがたく、よい」「教室からの景色、芝生」「給食がおいしい」、そして「いきいきスクール」などが挙がりました。

最後の「学校に期待すること」の質問では、「学習指導の充実」「道徳・心の教育の充実」「外国語活動の充実」がトップの三つになりましたが、学習指導と心の教育は、差もわずかで、主にこの二つが学校に期待されていると考えられます。最初の「子供に身に付けてほしいこと」では「思いやりの心」がトップでしたが、こちらでは「学習指導の充実」が若干上回りました。やはり、学校では勉強をしっかり教えてもらいたいという保護者のお考えが現れたものと捉えております。



学校では、これらの意識調査の結果も考慮に入れながら、新年度の教育課程の編成に入りました。今年度の反省を生かして、来年度以降の改善を進めていきます。

4 自由意見等について

アンケートには自由記述欄を設け、学校への意見や要望もお寄せいただきました。

ご意見としては、多数の学校の取組や教職員に対する労いのお言葉をいただきました。私たちにとっても大変励みとなる温かいお言葉をありがとうございました。また、PTA活動や子ども会の活動に対するもの、登下校の安全に関するものが比較的多く寄せられました。こちらについては、PTA本部とも協力して今後前向きに検討していきたいと考えております。

また、学校への要望もいただきました。それらの中には、すぐにでも改善をはかるべきもの、今後の検討課題とすべきもの、また諸処の事情から、学校だけでは実現が困難なものなどがありました。学校は、これらのご意見やご要望を真摯に受け止め、今後の検討・改善に生かしていきます。中でも、次のご要望については、改善を図り、来年度より早速実施することにいたしました。

- ・ 個人面談を年2回にしてほしい
 - 30年度夏休み中に1回だったものを7月（全員）と12月（希望者等）の2回実施します。
- ・ 次の月行事予定がもう少し早めにほしい
 - 各学年の学年便りの発行日を月の24日、学校便りを月初めとします。学年便り発行以降に変更点等出た場合は、学校便りでお知らせします。
- ・ 3年生から着替えを男女別にしてほしい
 - 来年度の3年生の教室から別々にできるような準備をしています。

その他、次のような、すぐにでも確認すべき事については、すでに全体で再確認し改善を図っています。

- ・ 暗唱に取り組みたいので、担任からも声かけをしてほしい
- ・ 他学年の児童にも、公平に悪いものは悪いと注意してほしい
- ・ 子供をしかるとき（教職員の）言葉遣いなどに気をつけてほしい

年末のお忙しい中でご協力いただきありがとうございました。

（本学校便りでお知らせしましたアンケートの結果、その他のアンケートの結果と学校評価全体の情報は、本校ホームページに掲載しておりますので、そちらもあわせてご覧いただければ幸いです。）

平成30年 学校評価 児童アンケート集計結果【年間総合】

評定: 1 できた 2 まあまあできた 3 あまりできなかった 4 まったくできなかった

	各評価ごとの割合(%)								3～6年							
	1		2		3		4		1～2年		1～2年		3～6年			
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	1+2の値	3+4の値	1+2の値	3+4の値	7月	12月	1+2の値	3+4の値
①担任の先生との英語学習を楽しむことができた。	62.0	58.1	30.2	32.8	5.4	6.3	2.4	2.7	/	/	/	/	92.2	91.0	7.8	9.0
	60.0		31.5		5.8		2.5						91.6		8.4	

	各評価ごとの割合(%)								1～6年						
	1		2		3		4		1～2年		1～2年		3～6年		
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	1+2の値	3+4の値	1+2の値	3+4の値	7月	12月	1+2の値
②学習中、自分で考えたり友達と話し合ったりすることができた。	60.4	62.7	31.3	29.0	7.9	6.2	0.4	2.1	91.7	91.7	8.3	8.3			
	61.6		30.1		7.0		1.2		91.7		8.3				
③プロジェクターやipadを使った学習で、学習内容が分かった。	68.4	78.7	23.8	18.1	6.3	2.0	1.6	1.2	92.1	96.8	7.9	3.2			
	73.5		20.9		4.1		1.4		94.5		5.5				
④学習に集中して取り組むことができた。	56.7	54.9	34.2	35.9	7.3	5.9	1.8	3.3	90.9	90.8	9.1	9.2			
	55.8		35.0		6.6		2.5		90.9		9.1				
⑤「三晉あいことば」を意識して生活することができた。	38.3	40.2	45.1	45.8	15.3	11.5	3.3	2.5	81.4	86.0	18.6	14.0			
	38.2		45.4		13.4		2.9		83.7		16.3				
⑥道徳の学習を生活に生かすことができた。	45.6	43.5	34.4	38.2	16.5	14.0	3.5	4.3	80.0	84.7	20.0	18.3			
	44.5		36.3		15.3		3.9		82.3		19.2				
⑦避難訓練などで、自分で自分の身を守る力を付けることができた。	62.7	61.2	15.2	15.7	2.2	2.5	0.0	0.6	97.8	96.9	2.2	3.1			
	61.9		15.4		2.3		0.3		97.4		2.6				
⑧ゲストティーチャーとの学習を楽しむことができた。	69.0	60.6	22.8	14.3	5.1	2.0	3.1	3.1	91.7	94.9	8.3	5.1			
	74.8		18.5		3.6		3.1		93.3		6.7				

	各評価ごとの割合(%)								3～6年							
	1		2		3		4		1～2年		1～2年		3～6年			
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	1+2の値	3+4の値	1+2の値	3+4の値	7月	12月	7月	12月
⑨理科の学習を楽しむことができた。	72.8	65.7	19.8	27.1	6.3	5.1	1.2	2.1	/	/	/	/	92.5	92.8	7.5	7.2
	69.2		23.4		5.7		1.6						92.7		7.4	
⑩理科の学習内容が分かった。	65.3	63.8	30.5	30.0	3.0	5.0	1.2	1.2	/	/	/	/	95.8	93.8	4.2	6.2
	65.3		30.3		4.0		1.2						94.8		5.2	
⑪社会の学習を楽しむことができた。	60.1	58.4	27.8	28.0	9.0	10.2	3.0	2.4	/	/	/	/	88.0	87.4	12.0	12.6
	59.2		28.5		9.6		2.7						87.7		12.3	
⑫社会の学習内容が分かった。	59.3	58.0	29.3	35.0	9.6	5.2	1.8	1.8	/	/	/	/	88.6	93.0	11.4	7.0
	58.6		32.2		7.4		1.8						90.8		9.2	

	5～6年		1～4年		5, 6年	
	7月	12月	7月	12月	7月	12月
⑬キャリア教育を通して、将来の自分の「職業」や「働くこと」について、意識が高まった。	/	/	/	/	94.3	5.7

	各評価ごとの割合(%)								1, 2年				3～6年			
	1		2		3		4		1～2年		1～2年		3～6年		3～6年	
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	1+2の値	3+4の値	1+2の値	3+4の値	7月	12月	7月	12月
⑭生活科の学習を楽しむことができた。	77.3	79.4	15.3	16.2	4.5	2.2	2.8	2.2	92.6	95.6	7.4	4.4	/	/	/	/
	78.3		15.8		3.4		2.5		94.1		5.9					
⑮生活科の学習内容が分かった。	67.6	70.6	23.9	19.2	6.3	7.4	2.3	2.8	91.5	89.8	8.5	10.2	/	/	/	/
	69.1		21.5		6.8		2.5		90.6		9.4					

学校では、より客観的な学校評価を行うために、保護者アンケートの他に、児童アンケートと教職員アンケートを実施して、しっかりとしたエビデンス(根拠)に基づく自己評価を行いました。それに基づき、2月4日に学校運営連絡協議会の委員の皆様、評価そのものを吟味していただきご意見を頂戴いたしました。委員の皆様からは、おおむね学校経営は良好であるとの評価をいただきました。実際に学校評価をいたしました「学校経営計画表・自己評価表」は、本校ホームページに掲載しております。(大変細かい記述となっているため、紙での配付は見合わせました。ご希望の方はお申し出ください。)

こちらにお示しした児童アンケートからも、子供たちが全般的に楽しい充実した学校生活を送っていることが分かりましたが、さらに向上させるよう来年度以降の具体的な計画として生かしていきます。